

森づくり最前線

群馬森林管理署 水沼森林事務所 地域統括森林官 石栗 英人



全国的にも珍しい駅構内に温泉がある「わたらせ渓谷鉄道水沼駅」、お湯は国有林野内の源泉から！

老齢木が多く、学術上、又、遺伝資源の確保上、貴重な森林であり、「根本沢シオジ林木遺伝資源希少個体群保護林」に指定されています。

水沼・桐生森林事務所は、群馬県桐生市とみどり市の国有林野、約7千haを管轄しています。管内北西部には百名山で有名な赤城山の稜線が伸び、中央部には渡良瀬川や桐生川が流れ、新緑の森林や紅葉の渓谷など、四季を通じて多くの皆さんに親しまれています。

桐生川の最上流地帯の峡谷には、シオジの群落を見ることができます。胸高直径100cmを超える



新緑の根本沢シオジ保護林

管内の約6割を占める人工林では、近年、ニホンジカによる被害が深刻化しています。このため、新たに植付する際には、防護柵（金網やネットで植付エリアを囲む）や単木保護資材（植栽木を一本一本を資材で覆う）を設置し、忌避剤を散布するなど対策を講じています。



森林事務所職員によるシカ防護柵の点検・補修作業

防護柵は、管内で約40カ所、総延長約37kmにもおよび、風倒木や土砂崩れによる部分的な倒壊がないか巡視するなど、維持管理も森林事務所の重要な業務となっています。また、クマによる成木の樹皮剥ぎ被害も拡大しており、間伐後の林分を中心に、剥皮防止用テープを幹に巻くなど対策を行っています。



玉ねぎネットによるシカ被害対策

これらの獣害対策は、初期費用や維持管理に要するコストが大きいことから、群馬森林管理署では、玉ねぎ包装用ポリネットなど身近な材料を活用して単木保護資材の低コスト化に取り組んできました。今年度、当事務所管内において、この「玉ねぎネット単木保護資材」を請負事業で施工（約4ha）しました。風衝地での設置方法や降雪期の耐久性などの課題に対し、現地で創意工夫を重ねながら改良を進めているところです。



職場体験で訪れた高校生にコンパス測量の方法を説明する筆者

今後とも、地域林業の様々な問題解決に向けて、民有林野関係者（群馬県や市町村、森林組合等）とも連携を深めながら取り組んで参ります。また、地域住民に寄り添い国有林野事業の理解促進に努めて参ります。